



体験を発表し合い理解を深める(指導者研究協議会)

県教育委員会では、今年度、「心豊かな、たくましい人間」の育成を目標に掲げていくつかの重点施策を実施してきました。家庭教育の充実に関しても「生きがいに満ちた社会教育の推

きをつけてねといった
 ぼくは
 はい、いつてきますといった
 おかあちゃんのが
 ついてきた
 がっこうまでついてきた

これは、「家庭教育の原点」(上廣栄治著)という本にのっている小学校一先生の男の子の詩です。

表3 平成元年度電話相談実施状況(4月~10月)

1. 月別相談件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
(63) 件数	25	36	33	32	20	32	27	25	27	24	23	19	323
(元)	17	28	27	26	13	34	24						

2. 内容別相談延件数

(左の対象別内訳)

内容別	相談延件数 対象別			%	順位	乳幼児期			小学生期			中学生期			高校生期			その他		
	男	女	計			乳	幼	児	小	学	生	中	学	生	高	校	生	そ	の	他
健康発育	13	13	26	10.0	4	13	10	23	1		1	1								
育児保育	13	14	27	10.4	3	12	10	22	2	1	2	3							2	2
知能ことば	6	1	7			5	1	6		1	1									
しつけ	14	7	21		5	7	4	11	4	7	1	8	2		1	1			1	1
性格行動	18	14	32	12.4	1	11	3	14	3	6	4	10	1	1	1	2			3	3
非行	1	1	2														1	1	2	
神経性習癖		1	1				1	1												
性の問題		2	2											1	1				1	1
対人交遊	9	8	17			3	4	7		3	3		2	2		3	1	4	3	1
遊び	2	2	4				1	1		2	1	3								
言語障害	2		2			1		1		1		1								
食事栄養			0																	
学業成績	6	3	9							5		5	3		3	3	2	1		1
進路適性	4	3	7								1	1		2	1	3	2	2	1	3
登校拒否	13	8	21		5	2		2		1	4	5	3	7	2	9	1	3	2	5
いじめ	9	5	14			6	1	7		1	3	4		1		1		1	1	2
自殺			0																	
家庭の人間関係	5	16	21		5	2	1	3		2	3	5	3				5	5	1	1
家庭全般	3	6	9			1		1		2		2					3	3		3
習いごと	4	2	6				1	1		3	1	4		1		1				
その他	13	18	31	12.0	2	7	2	9		1	3	4		1	2	3	2	3	1	4
合計	135	124	259			70	39	109		36	24	60		13	14	27		14	19	33

進」を基盤に、より効果的、具体的な成果を願って事業に取り組んでいます。以下に家庭教育事業推進上の課題や方向付けについて要約し、まとめにしたいと思います。



(一) 家庭教育学級の拡充

家庭教育に関する意識の向上をねらいに、明日の親や思春期の子どもをもつ親を対象にした学級の開設促進を図るほか、働く親や父親の学習参加の奨励に努める。

(二) すこやか家庭教育相談事業

県民の多様な学習要求への対応を図ると同時に、学習情報や家庭教育資料の活用促進に努めるほか、学校や保健所など関係機関との連携・協力体制の強化を図る。

(三) 家庭教育総合推進事業

家庭や地域の教育力の活性化を図るため、家庭教育関係の指導者の育成と相互派遣及び県レベルでの総合的な相談体制(電話相談を中心に)の整備・拡充を図る。

今後とも、県の「家庭教育企画運営委員会」等の各委員の意見を積極的に取り入れながら、各種事業の効果的な運用を図ってまいります。